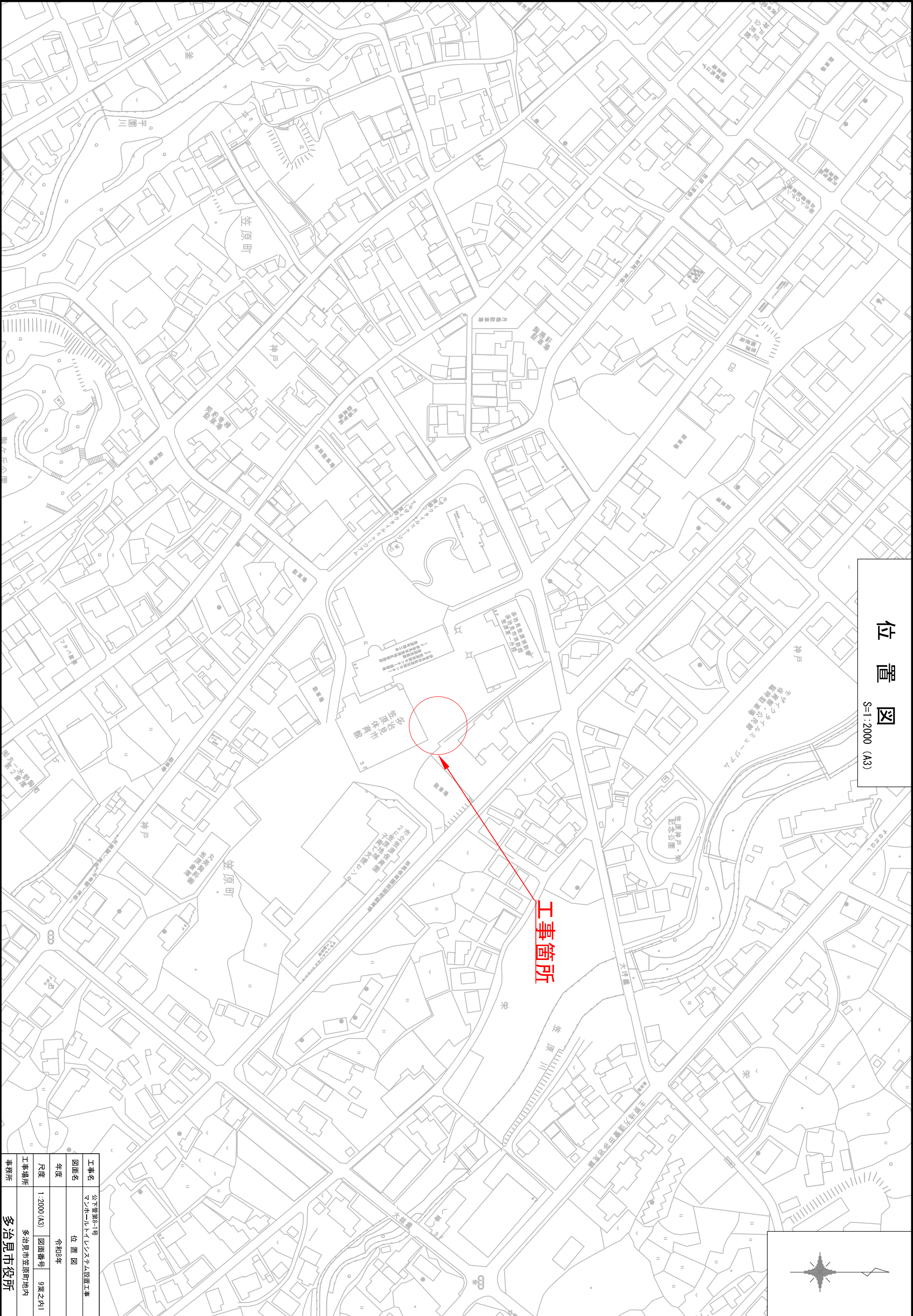
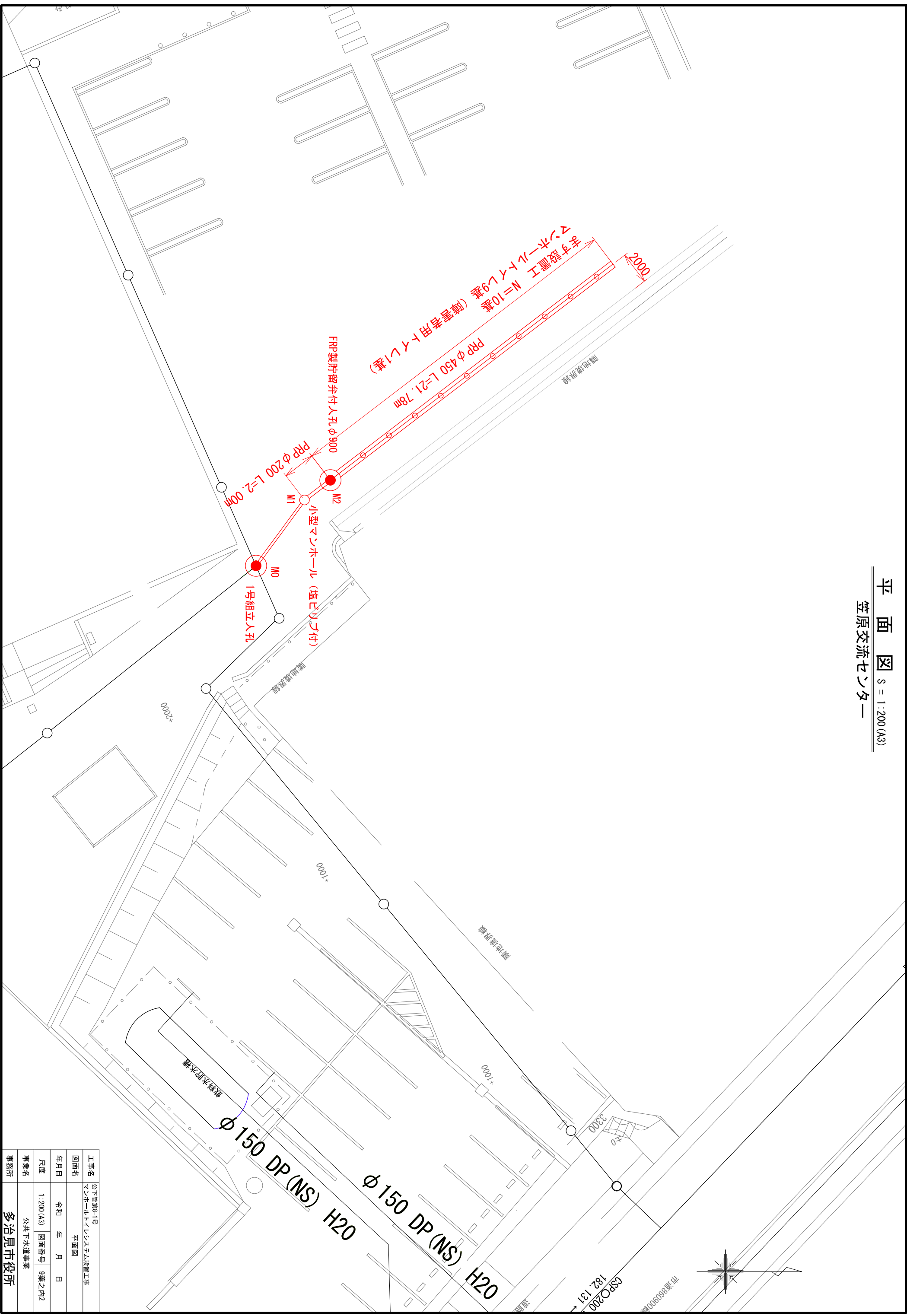


位置図
S=1:2000 (A3)



工事名	公下第8-1号 マシポートレックス設置工事		
図面名	位置図		
年度	令和8年		
尺度	1:2000 (A3)	図面番号	9葉之内1
工事場所	多治見市笠原町地内		
事務所	多治見市役所		

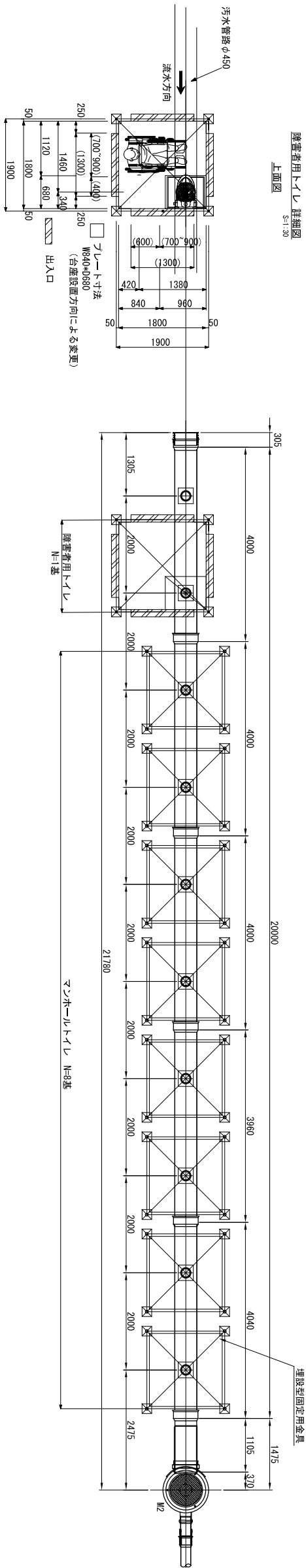
平面図 $S = 1:200 (A3)$



図解システムトイ災害

笠原交流センター S = 1:100 (A3)

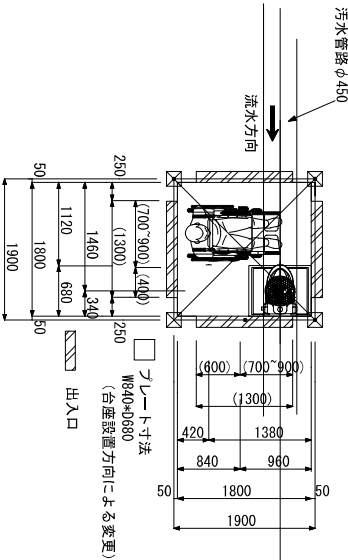
災害トイレステム平面図 $S = 1:100$



障害者用トイレ 詳細図

上面圖

S=1:30



図面断面システムトイ災害

S = 1:100

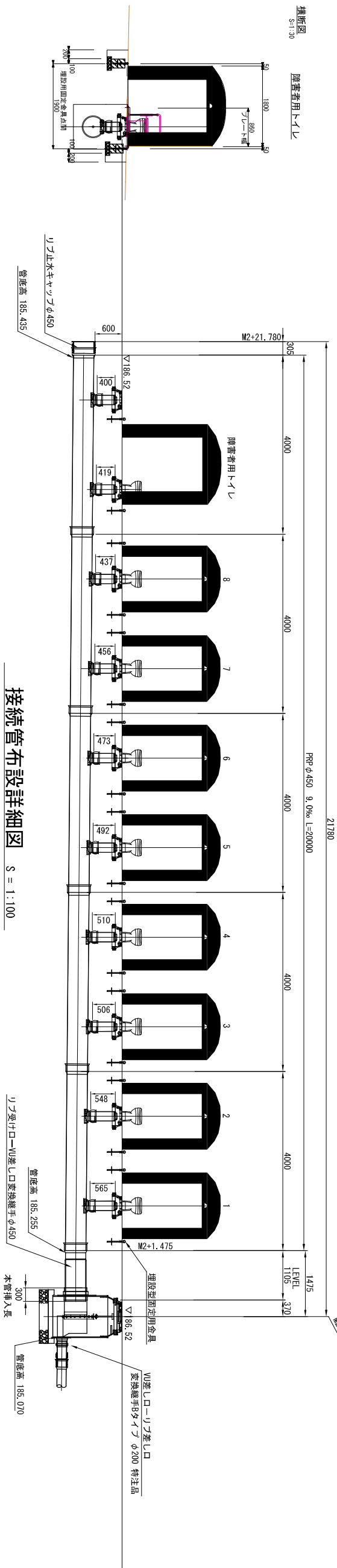
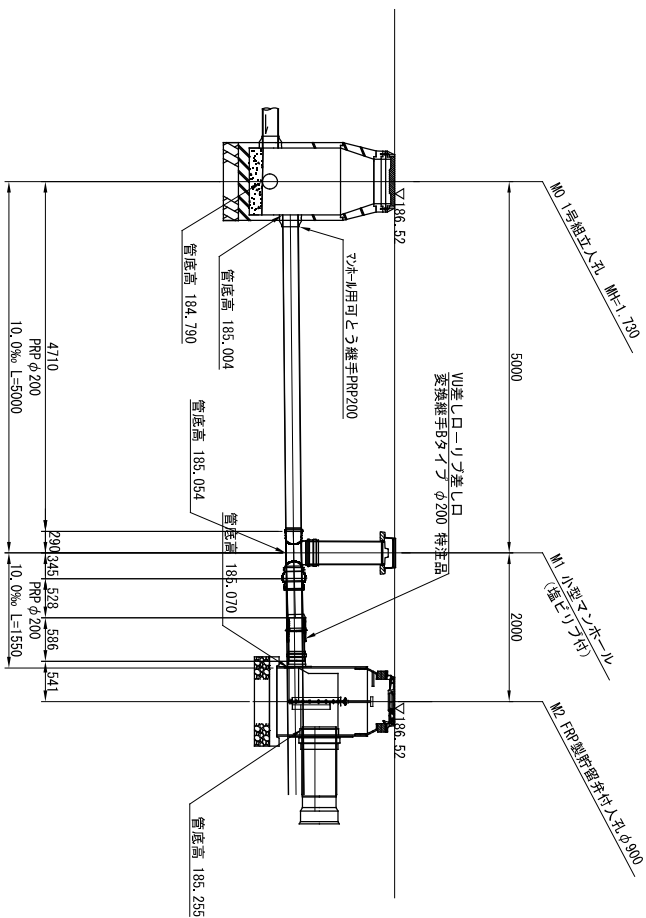


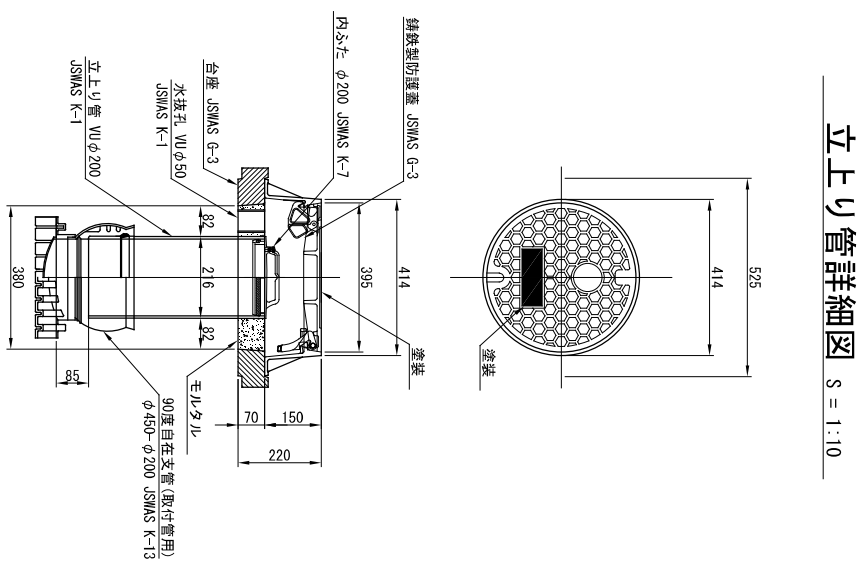
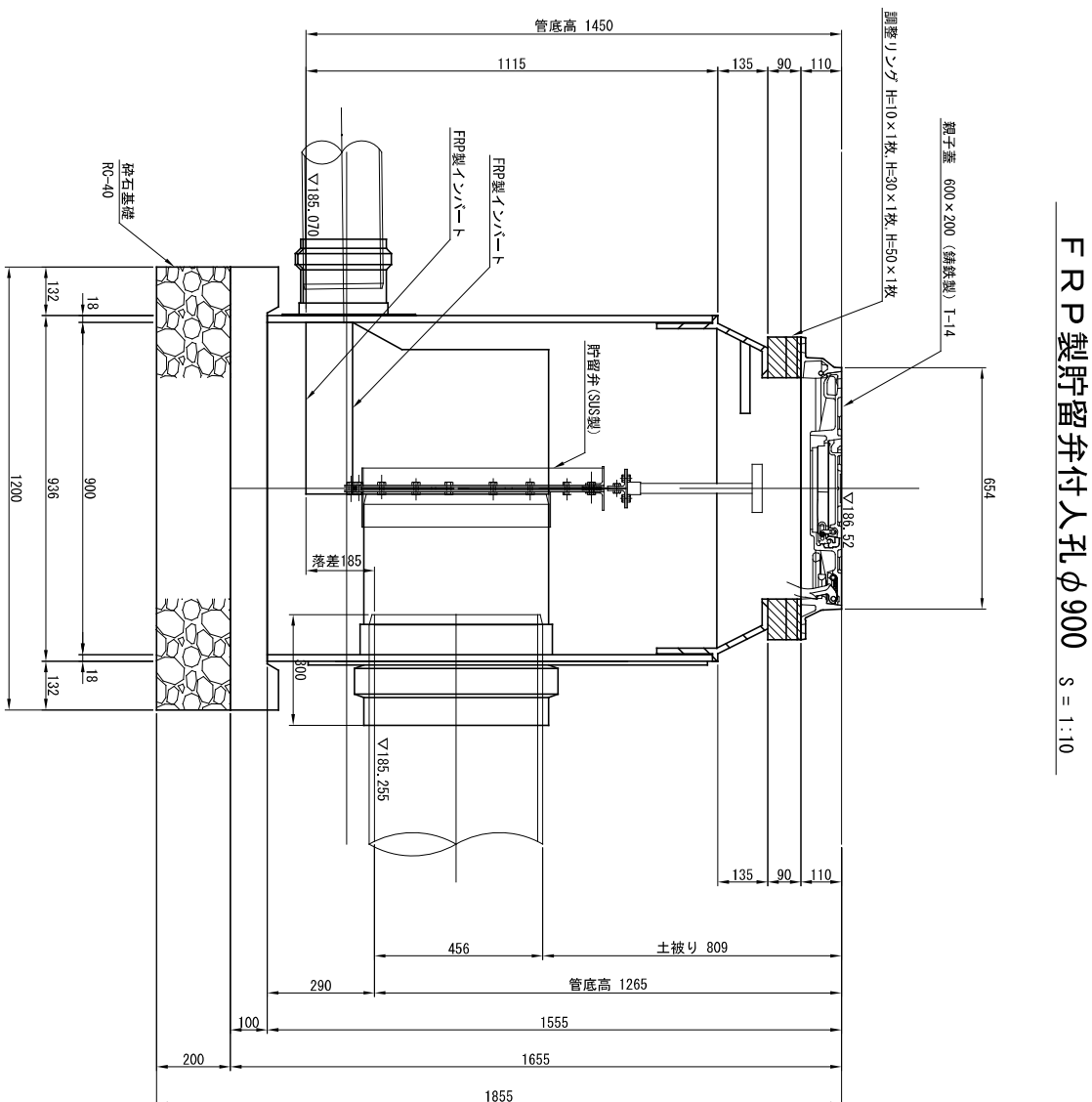
圖 5 審計設置系統接

S = 1:100

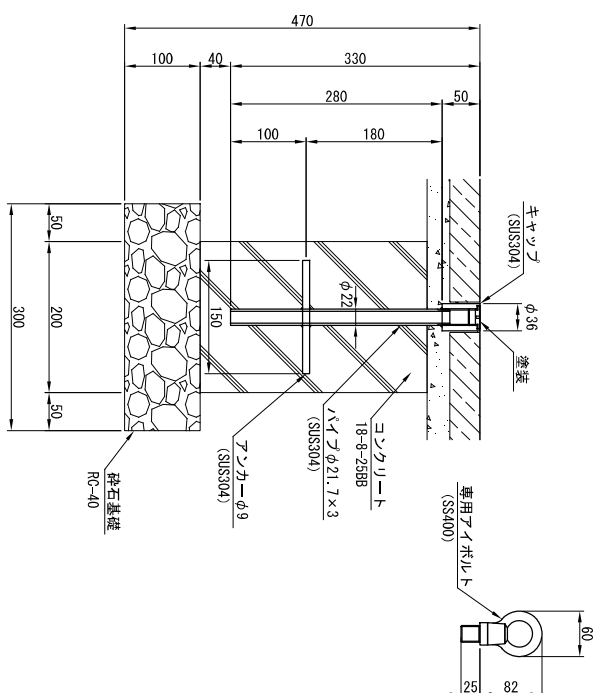


工事名	公下管線1号
図面名	マンホールトイレシステム設置工事 災害トイレシステム詳細図
年月日	令和 年 月 日
尺度	図示 図面番号 9葉之内3
事業名	公共下水道事業
事務所	多治見市役所

災害トイシステム構造図
笠原交流センター



埋設型固定用金具 $S = 1:5$



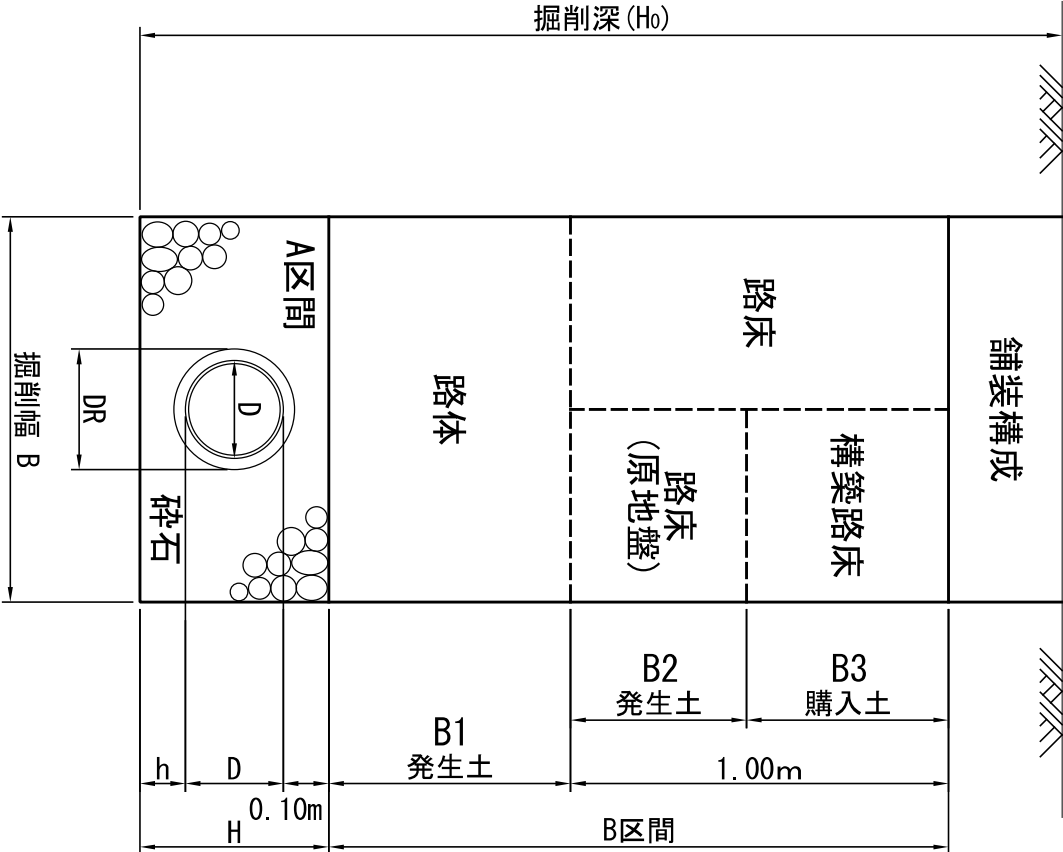
工事名	公下橋第3号 マシホルトレンシズテム設置工事
図面名	災害トレンシズテム構造図
年月日	令和 年 月 日
尺度	図示 図面番号 9枚之内4
事業名	公共下水道事業
事務所	多治見市役所

工事名	公下橋第3号 マシホルトレンシズテム設置工事
図面名	災害トレンシズテム構造図
年月日	令和 年 月 日
尺度	図示 図面番号 9枚之内4
事業名	公共下水道事業
事務所	多治見市役所

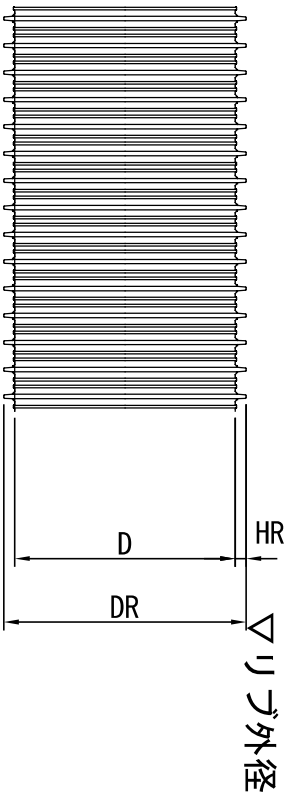
リブ付硬質塩化ビニル管布設標準図

(JSWAS K-13 呼び径150～300mm)

- 多治見市水道部 下水道標準構造図
- 【一般事項】 JSWAS規格に基づき施工すること
- 【特記事項】
- ①可とう継手は管種別標準図を参照すること
- ②注１）に示す施工管理を行うこと



注１）土被りの計測は地表からリブ外径となるため、HRを付加すること



呼び径	リブ外径 DR (mm)	リブ高さ HR (mm)
150	171	8
200	229	12
250	286	15
300	344	18

呼び径	管外径 D (mm)	管厚 t (mm)	掘削幅 B (m)			砕石基礎		A区間 (m ³ /m)		
			Ho<1.5m	1.5m≦Ho<3.5m	3.5m≦Ho<6.0m	h (m)	H (m)	Ho<1.5m	1.5m≦Ho<3.5m	3.5m≦Ho<6.0m
150	156	3	0.70	0.80	0.90	0.10	0.36	0.233	0.269	0.305
200	206	3	0.75	0.85	0.95	0.10	0.41	0.274	0.315	0.356
250	256	3	0.80	0.90	1.00	0.10	0.46	0.317	0.363	0.407
300	307	3	0.85	0.95	1.05	0.10	0.51	0.360	0.411	0.462
450	458	4	1.00	1.10	1.20	0.10	0.66	0.495	0.561	0.627
*姫地区の最大計画管径は300										

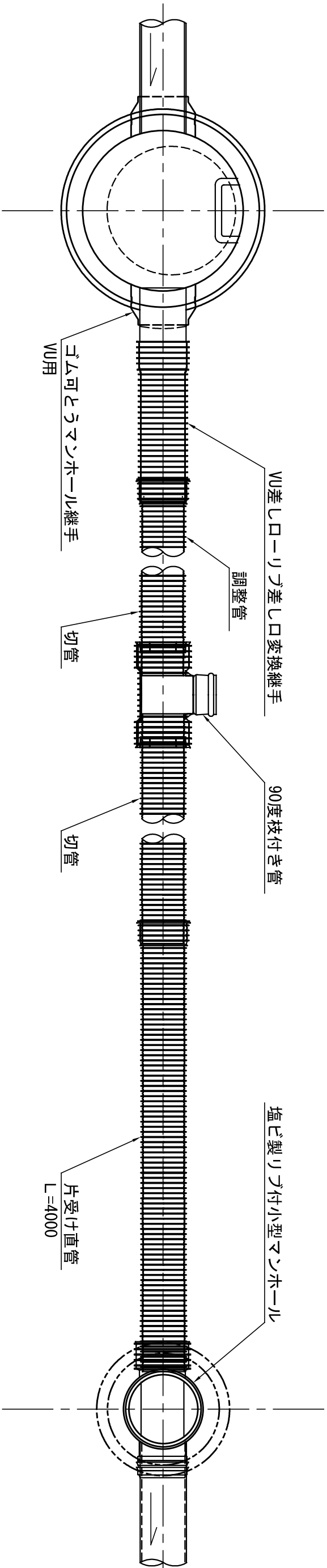
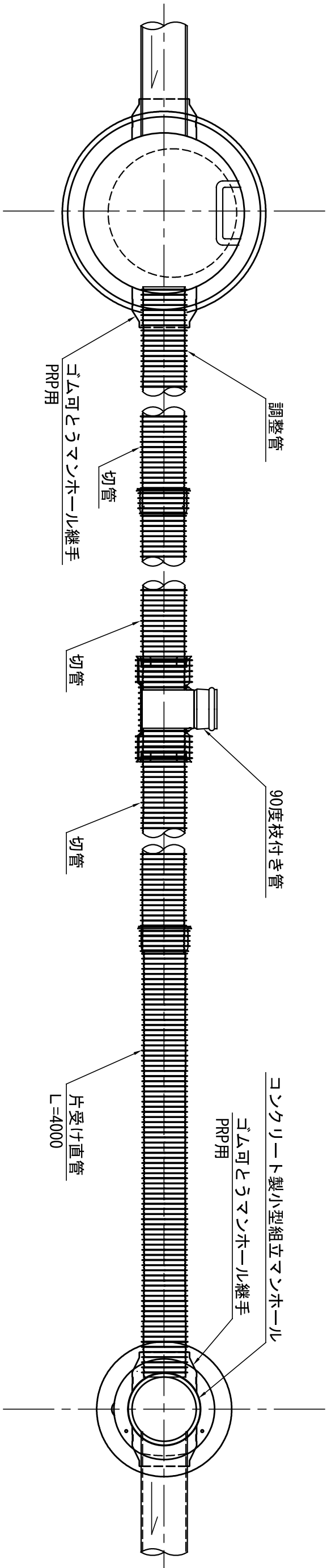
A区間=B×Hーπ/4×(D/1000)²

工事名	公下管第8-1号 マンホールトイレステム設置工事									
図面名	標準図									
年月日	令和	年	月	日						
尺度		図面番号			9葉之内5					
事業名	公共下水道事業									
事務所	多治見市役所									

リブ付塩ビ管マンホール接続標準図

(JSWAS K-13 呼び径150～450mm)

【一般事項】 JSWAS規格に基づき施工すること
【特記事項】
小型人孔では必要に応じて自在継手を使用する。

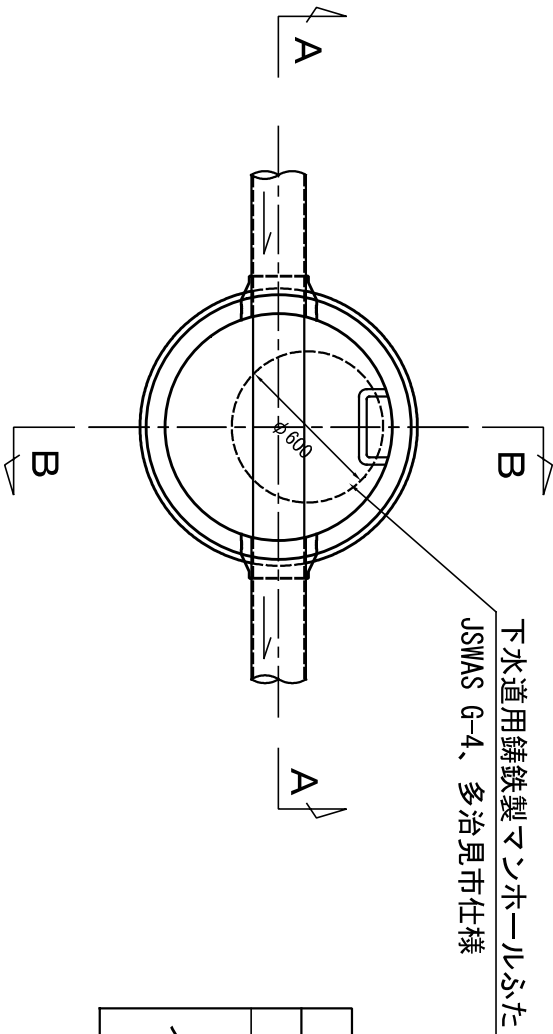


工事名	公下第8-1号 マンホールトイレシステム設置工事		
図面名	標準図		
年月日	令和	年	月 日
尺度		図面番号	9第2P6
事業名	公共下水道事業		
事務所	多治見市役所		

組立 1号マンホール構造標準図

(JSWAS A-11 内径900mm円形)

平面図



多治見市建設水道部 下水道標準構造図

【一般事項】 JSWAS規格に基づき施工すること

【特記事項】

マンホール鉄蓋の開閉方向は、原則路側方向とする。マンホールスリーブの設置も同様とし、管路の上に取り付けけないこと。

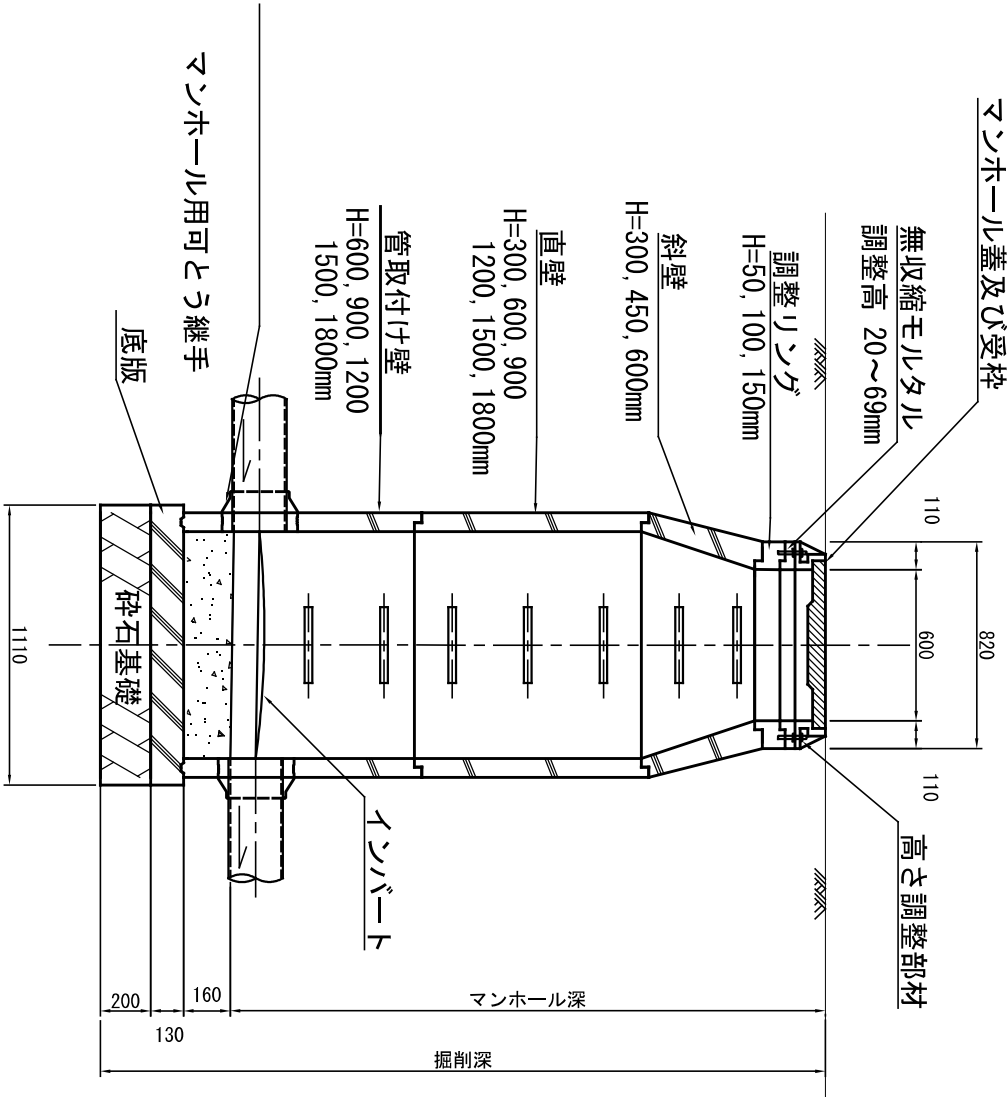
これによらない場合は、別途協議すること。

1ヶ所当り

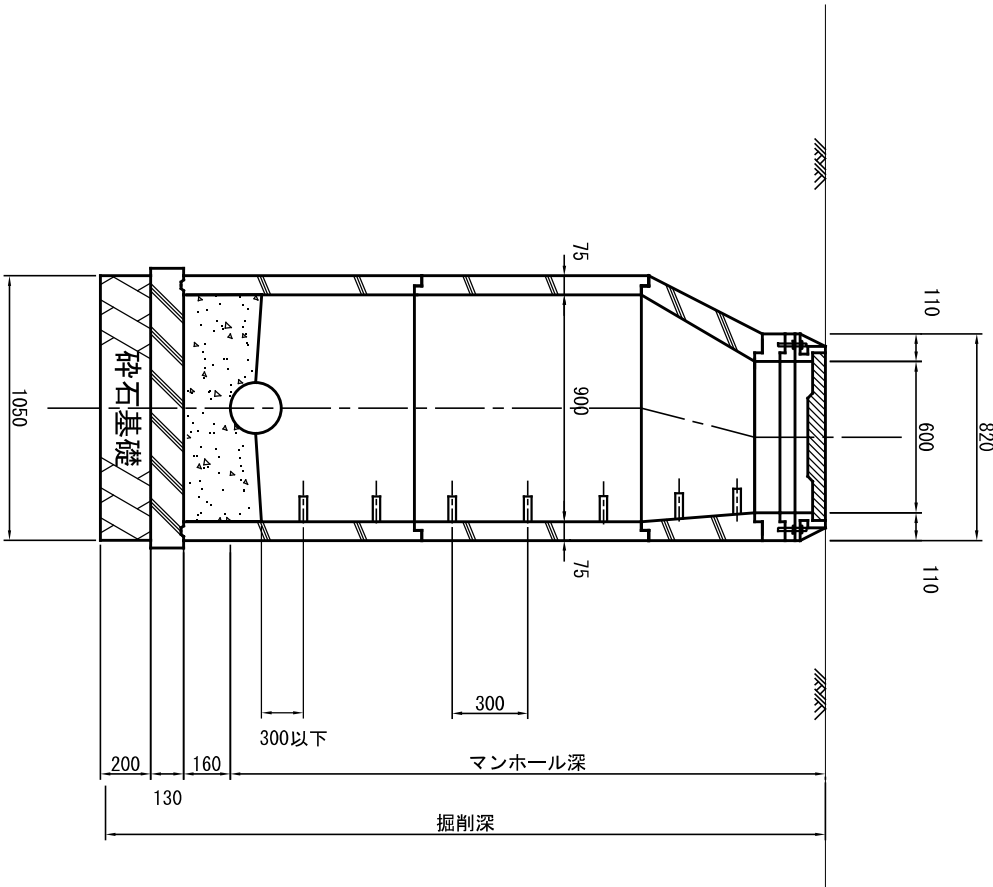
工種	名称	規格	計 算 式	一般式
碎石基礎	再生碎石	C-40又はRC-40	$\pi/4 \times 1.05^2$	0.866 m ²
	型 枠		$\pi \times D/2 \times 0.90$	1.414 × D m ²
インバート	コンクリート	18-8-40	$\pi/4 \times 0.90^2 \times (D/2 + 0.16) - \pi/4 \times D^2/2 \times 0.90$	0.102 + 0.318 × D - 0.353 × D ² m ³
	上塗モルタル	配合1:2, t=20	$\pi/4 \times 0.90^2 - 0.90 \times D + \pi/2 \times D \times 0.90$	0.636 + 0.513 × D m ²

※ Dは内径を表す。

A-A断面図



B-B断面図



工事名	下水道第8-1号マンホールトイレンシステム設置工事		
図面名	組立 1号マンホール構造標準図		
年月日			
尺度	S-Free	図面番号	9葉之内7
会社名	公共下水道事業		
事務所名	多治見市役所		

塩ビ製リブ付小型マンホール構造標準図

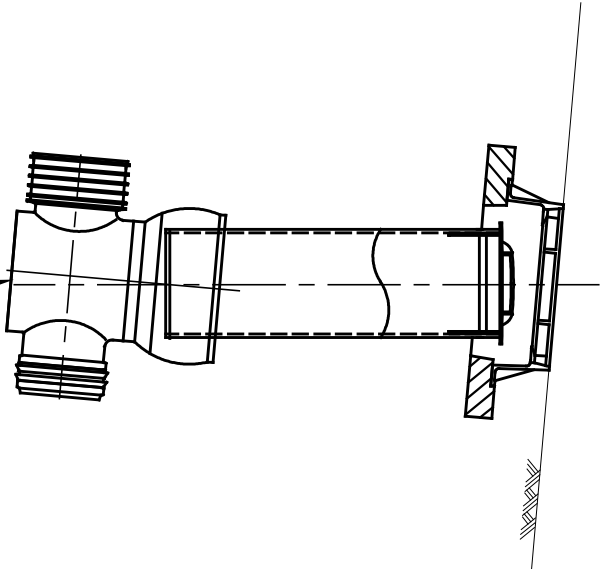
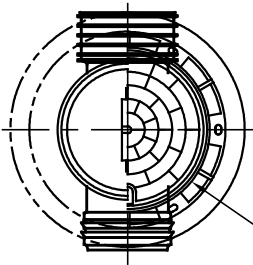
(JSWAS K-17、G-3、K-7、K-9 内径300mm)

【一般事項】 JSWAS規格に基づき施工すること
【特記事項】

① 管勾配87%を超える場合に適用する

急傾斜地設置標準図

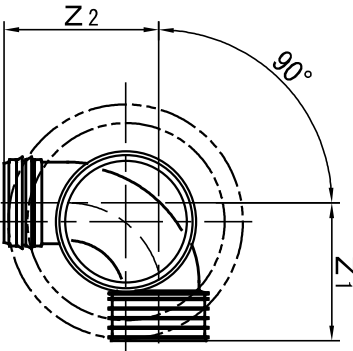
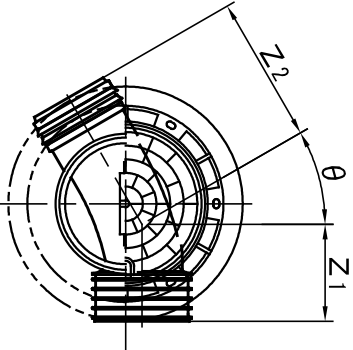
下水道用鑄鉄製防護ふた
JSWAS G-3



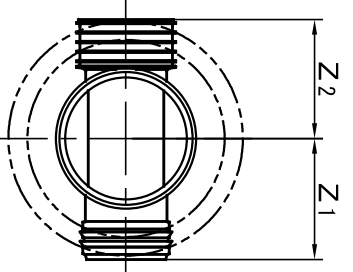
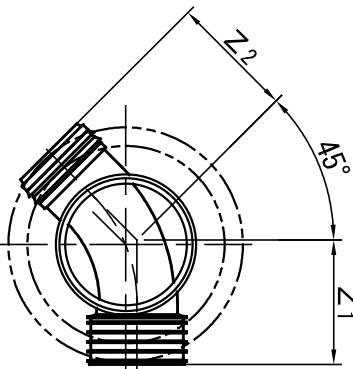
傾斜地対応型
プラスチックリブパイプ協会規格

インバート構造図

90度曲り

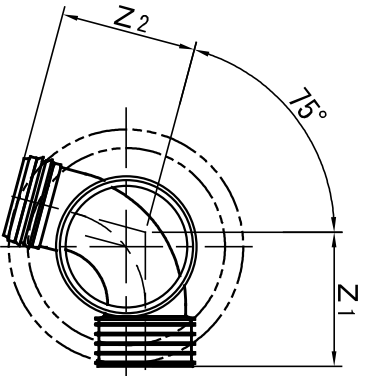
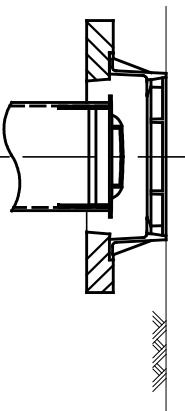


45度曲り

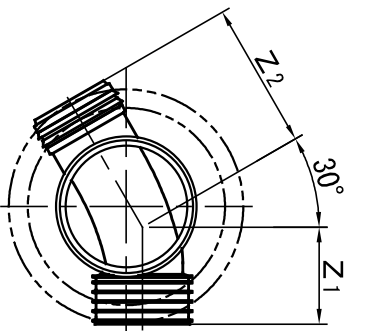


ST

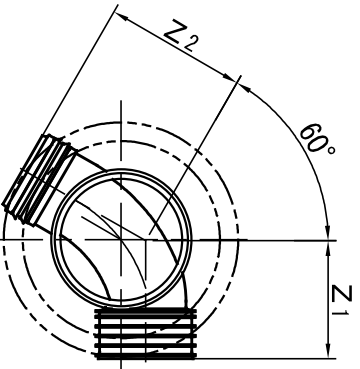
75度曲り



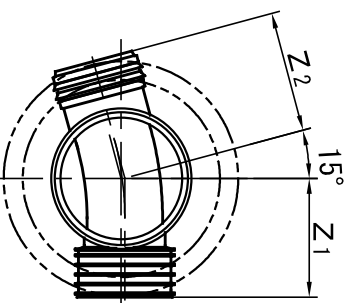
30度曲り



60度曲り



15度曲り



種類	Z 1 (最小)	Z 2 (最小)
90度曲り	290	310
75度曲り		
60度曲り		
45度曲り		
30度曲り		
15度曲り		
S T		

工事名	公下第88-1号 マンホールトイレシステム設置工事		
図面名	標準図		
年月日	令和	年	月 日
尺度	図面番号		9第2内8
事業名	公共下水道事業		
事務所	多治見市役所		

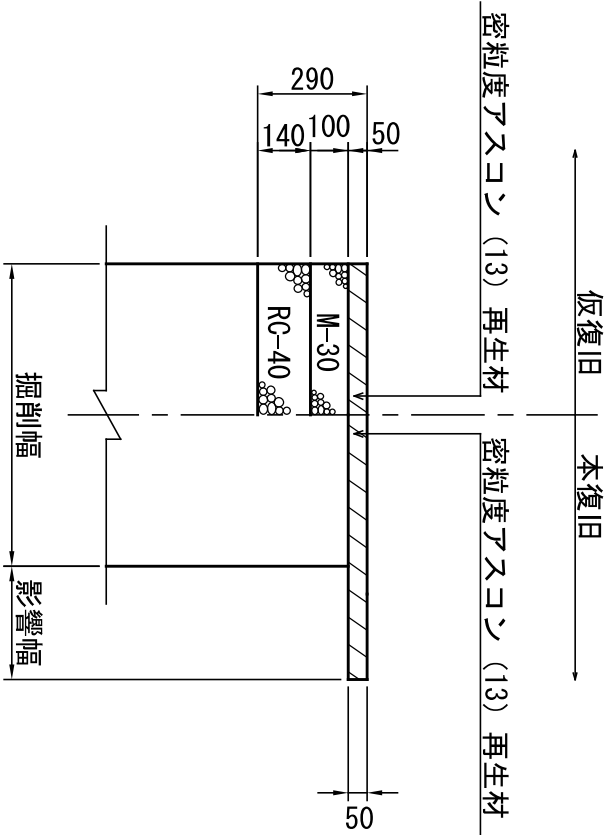
【一般事項】
【特記事項】
①施工時に現場CBRを確認すること
②現況の舗装構成を確認すること

舗装構成図

(市道標準構成)

交通量区分N3 設計CBR8以上

舗装計画交通量 40≦T<100



※ 市道の舗装構成が標準的なものと違う場合は、道路管理者と協議すること。

※ 県道、国道及びその他（法定外等）の場合は、道路管理者と協議すること。

工事名	下水道第8号 マンホールトイレステム設置工事		
図面名	舗装構成図		
年月日			
尺度	S-Free	図面番号	9葉之内9
会社名	公共下水道事業		
事務所名	多治見市役所		